

日頃のお仕事、ご苦労様です。

今回は老健の最も特徴と社会から期待されている「他職種協働」についてお話し致します。

他職種協働と7-3ルール：

私達老健の介護業務の特徴は他職種協働（役割分担、チームプレイ、チームワーク）です。そして理想の他職種協働チームが出来ればその効果は何倍にも増幅されます。

ところでその役割分担のあり方には3段階あります。そして言うまでもなく次に述べる第三段階が真の他職種協働です。第一段階はピラミッド型、第二段階はドーナツ型1、第三段階はドーナツ型2です。

第一段階のピラミッド型は従来からある上位下達型縦割り役割分担で軍隊が典型であり横の連携が出来難く、責任もトップに集中します。トップは主に医師となります。

第二段階のドーナツ型1は平坦型縦割り役割分担で、リーダーは医師とは限らず責任もメンバーの共同責任になり横の連携はし易くなりますが役割分担は縦割りのままなので一職種欠けるとその分の業務に支障が生じます。

第三段階のドーナツ型2は平坦型役割重複型役割分担で、リーダーは職種を問わず、責任もメンバーの共同責任であり、役割分担は相互に重なり、互いに手を出し合えるため一職種欠けても急場をしのげる程度に業務に支障が出ない状態になります。

第三段階のドーナツ型2が理想の他職種協働と言えます。

但しこれはお互いにかなり譲り合う覚悟がないと実現は難しい。コツは自分の意見は3割で留める7-3ルールです。

7割は相手の意見を入れる、を守ることです。やっけて行く中でより良いものがお互いに自然に分ってきます。

7-3ルール：

人はそれぞれ考え方が違います。他人と一緒にやる仕事は思うようにいかないのが当たり前です。日々自分の考え方の3割が通ればよしとして、7割は相手の意見を入れるべし。実践の中でのみより良い方向が互いに見えてきます。